

○ 協議テーマ

「賑わいづくりに向けた駅前空間のあり方」について

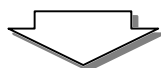
参照・大月駅周辺整備に関する検討報告書

◇とりまとめと今後の検討課題

検討委員会では新たに創出される広場や多目的スペース等の確認と、賑わいづくりの必要性、今後の検討内容等について確認を行った。

■ 検討委員会における主要意見

- ・現状の駅前には、電車を降りて駅を出て直ぐに帰ってしまう利用者が多いと思うので、何か駅前広場で人々が立ち止まり、賑わいを演出する工夫をお願いしたい。
 - ・中心市街地活性化と連携させるため、民有地の誘導・活用等についても検討が必要である。
 - ・関連事業や方策として人が集まった時に行う活動・交流のコンテンツ・ソフト方策などの対応も必要となってくる。
 - ・賑わい創出、まちなみ形成、交通結節点整備、これらの3つが本来なら並行して進められるのが望ましかったと思う。
 - ・ソフト方策からのハード整備について積極的に検討して欲しい。
 - ・賑わいある商業地づくりといった時に、景観形成も大きな柱の一つだが、それだけでは賑わいづくりは解決しないと思う。
 - ・フラットなコインパーキングであれば、イベントスペースとしても活用ができる。
 - ・賑わいづくりとして一番重要なのは駅に降り立った人が、駅前広場の周辺に魅力ある商業施設などを感じられる駅前づくりだと思う。
- ⇒まちづくりとして駅を考える必要があり、玄関口としての駅で来街者を立ち止まらせるアイデアを各委員や事務局から色々出した上で検討を行い、設計やデザインに反映させていければと思う。
- ⇒商業の活性化に向けた取組みを実行していく必要があり、それらを今回の事業とどのように連携させていくかが必要である。
- ⇒現在、賑わい創出の具体的なメニューや取組みについては検討中ということであるが駅周辺整備において、賑わいある商業地づくりについて検討を行っていくことは重要であり、賑わいづくりに向けた方針を今年度は検討してきた。これらを来年度以降の検討委員会へ反映させて行きたい。
- ⇒賑わいづくりや商業地に関しては、商工会等の内部だけの議論でなく、来年度から本検討委員会の中で委員の皆さんと積極的に議論していきたい。



*上記「⇒」部分は委員長によるとりまとめ

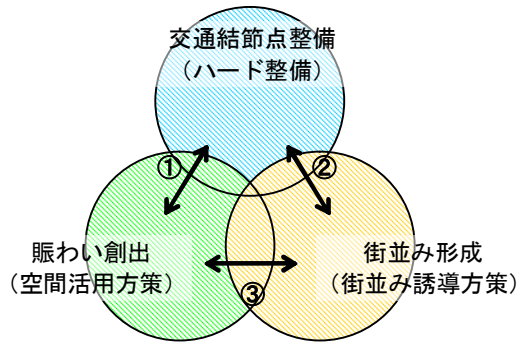
○賑わいづくりの連携

- ・賑わいづくりに資する事業メニューやソフト方策については、引き続き商工会や大商協等と協議を行い、来年度の検討委員会においても協議を行う。

○ハード整備とソフト方策の連携

- ・ハード整備のプログラムに配慮しつつ、ソフトメニューの具体化を早急に詰めていく必要がある。

1) まちづくり・ソフト方策の検討アプローチ



賑わい創出に向けた検討として、以下に示すようなアプローチで総合的に検討を行っていく必要がある。

- ①：新設される広場の活用方法や、既存のイベントを実施するために必要な空間・設備の確保
- ②：整備される広場の植栽や色彩など景観形成の視点からの作りこみ（一体的な景観演出）
- ③：民間敷地など沿道から波及する賑わいの演出

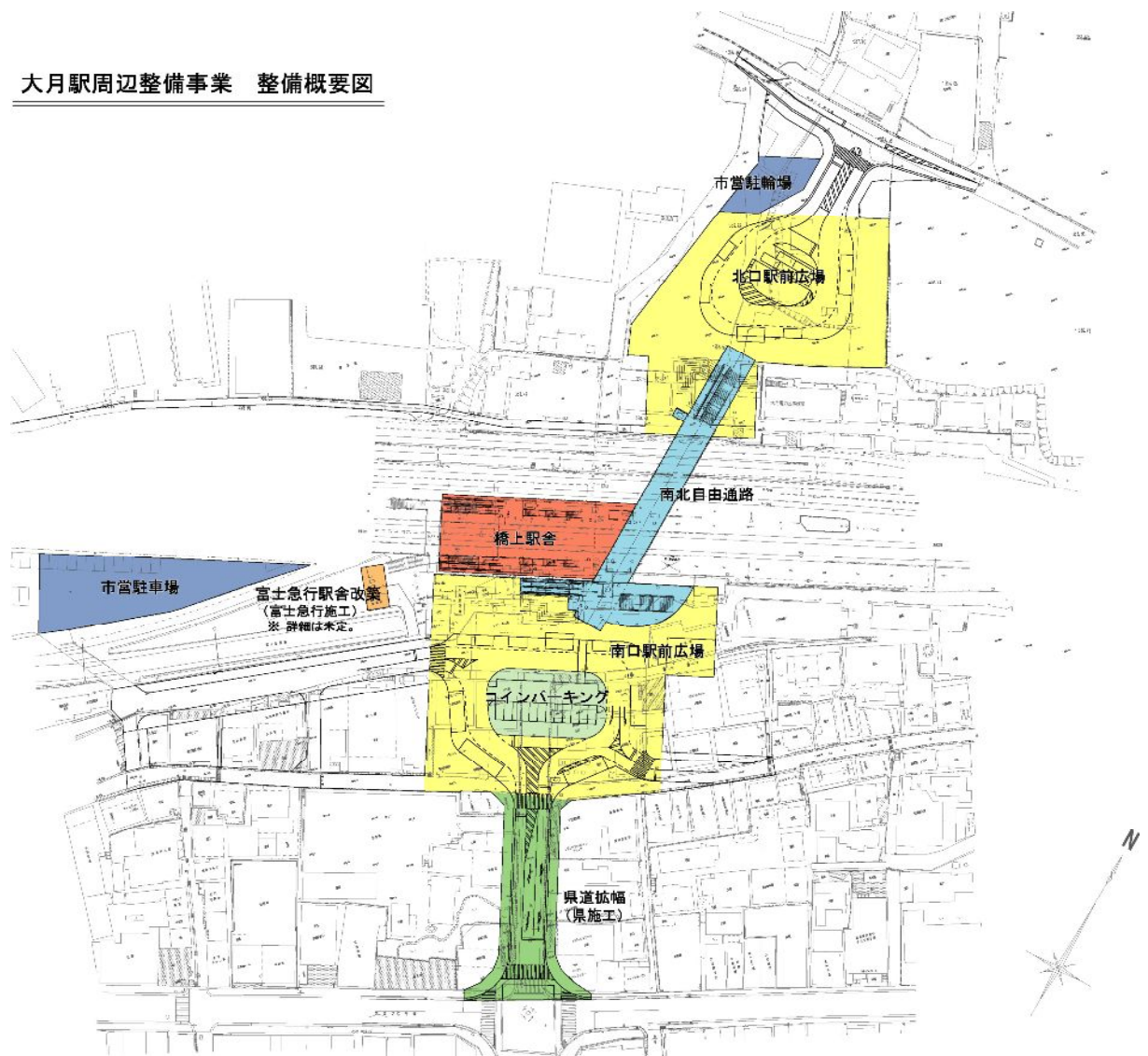
(1) 広場・滞留空間の確保

大月駅周辺整備事業により、『駅前広場』『南北自由通路』『北口公園』といった広場や滞留スペースの整備が予定されている。

これらの空間を活用した賑わい創出方法について今後、具体化を図っていく必要がある。

■新設される広場・滞留空間

大月駅周辺整備事業 整備概要図



2) 広場・滞留空間等の活用方向(案)

ア 広場空間(駅前広場、公園)

①交流・滞留機能

- ・市民や来街者が交流できるゆとりある空間を確保する。
- ・緑陰やパーゴラ、ベンチ等を確保し、談笑スペースなど地域住民の憩いの場を確保する。

◇必要設備：ベンチ、パーゴラ、植栽 等



岡山駅東口(岡山県)

②イベント機能

- ・市役所駐車場で開催されている日曜朝市やJ Cの土曜夕市を駅前広場でも開催する。
- ・駅前広場内への車両進入を規制することで、祭りや大規模なイベントを開催する。

◇必要設備：給排水設備、電力設備 等



阿佐ヶ谷駅南口(東京都)

③防災機能

- ・災害時や緊急時の避難場所として、必要設備及び、空間の確保を図る。

◇必要設備：貯水槽 等



耐震貯水槽

イ 滞留空間(自由通路)

①情報発信・アピール

- ・富士山の眺望ポイントが多数ある大月市として、富士山を題材とした写真展や絵画展等を開催する。
- ・地域情報やイベント情報の掲示。

◇必要設備：移動可能ベンチ・掲示板 等



名取駅(宮城県)

②ミニイベント

- ・名産品のワゴン販売による物産展や、市民・学生主催のコンサート、パフォーマンスの開催等の多目的な利用に対応できる空間の確保を図る。

◇必要設備：可動式設備(テント、ベンチ)



坂出駅(香川県)

ウ その他（市の特性を活かしたメニュー例）

大月市の自然的特性や観光資源を活かした広場・滞留空間への導入機能の例を以下に示す。

眺望スペース

駅舎や自由通路は約3階レベル程度まで上がるため、大月市の特色である山々への眺望ポイントとして眺望スペースを確保する。

【参考事例】



松本駅（長野県）

ガラス張りで、晴れた日にはアルプスが眺望できる。



八街駅 計画案（千葉県）

自由通路内には市民に親しまれる施設となるよう、展望施設や展示コーナー（5箇所）を整備予定。